SIDR

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 5 号

第 5 週(1月26日~ 2月1日)

発行年月日:平成21年(2009年) 2月 5日発 行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

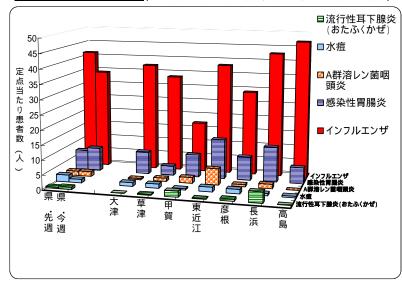
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりかなり少なくなっています。特にインフルエンザで減少し、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で増加しています(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

インフルエンザについては、先週に引き続き県下全域に警報の発令が出されています

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況については、インフルエンザでは全ての保健所管内で警報発生基準値を超えています。A群溶レン菌咽頭炎では、東近江保健所管内で警報発生基準値を超えています。また、流行性耳下腺炎では、長浜保健所管内で注意報発生基準値を超えています(詳細については、今週の発生状況:滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で8名、五類感染症のウイルス性肝炎で1名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第5週、定点当たり患者数)

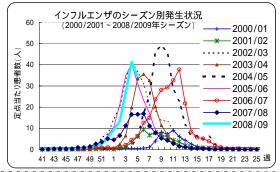


県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、 インフルエンザ、 感染性胃腸炎、 A 群溶レン菌咽頭炎、 水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。

インフルエンザは各保健所 管内とも先週より減少してい ます。感染性胃腸炎は高島で 先週より半減していますが、 長浜でほぼ倍増しています。 また、流行性耳下腺炎は長 浜で急増しています。

インフルエンザの発生状況

しばらくはインフルエンザの流行が続きますので、外から帰った時は<mark>手洗い、うがい等を</mark> 十分にして予防に注意しましょう。 また、引き続き<mark>咳エチケット</mark>を守りましょう。



咳エチケット

咳、〈しゃみがでたら、他の人にうつさないために マスクを着用しましょう。

マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を覆い、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。

鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐに**ゴミ箱に 捨てましょう。**

咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

~ 厚生労働省、インフルエンザ予防ポスターより~

1)全数報告の感染症(一類~五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている— ~ 四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき 医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた— ~ 四類および五類感染症を把握することができます。

武 沈 庄 粔 피	· 中 夕	報告数		報告数	平成20年報告			
感染症類型	疾 患 名	(5週)	滋賀	全国	滋賀	全国(*1)		
* 京 京 沈 京	## #\ I	` '-	(5週)	(5週)		全国"		
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0		
二類感染症	結核	8	23	1,532	282	27,737		
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	11	(*2)3	318		
二规芯未证	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	54	53	4,307		
	A型肝炎	0	0	7	3	170		
	コクシジオイデス症	0	0	1	1	2		
	デング熱	0	0	10	2	104		
	マラリア	0	0	6	1	57		
	レジオネラ症	0	0	69	10	884		
	アメーバ赤痢	0	0	70	10	861		
	ウイルス性肝炎	1	1	14	5	236		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	7	2	148		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	11	1	11		
	後天性免疫不全症候群	0	0	108	11	1,532		
五類感染症	ジアルジア症	0	0	4	1	75		
	梅毒	0	0	53	5	823		
	破傷風	0	0	5	5	120		
	急性脳炎	0	0	28	1	182		
	風しん ^(*3)	0	0	9	2	303		
	麻しん ^(*3)	0	0	76	39	11,005		

- *1:平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。
- *2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第5週(1/26~2/1)-

一類感染症:報告なし	į	四類感染症:A型肝炎	1例	五類感染症:後天性免疫不全症候群	15例
類感染症 : 結核	299例	つつが虫病	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
三類感染症:腸管出血性	i	レジオネラ症	7例	劇症型溶血性	
大腸菌感染症	9例	五類感染症:アメーバ赤痢	9例	レンサ球菌感染症	1例
細菌性赤痢	2例	梅毒	10例	ウイルス性肝炎	4例
四類感染症:デング熱	2例	破傷風	1例	風しん	1例
オウム病	1例	急性脳炎	5例	麻しん	11例

2)定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点 * から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は 1.00となります。 *疾患により定点数は異なります。

(1)疾病別·週別発生状況(平成20年第52週~平成21年第 5 週、H20.12.22~H21.2.1)

(1)7天7内内: 100万分上1人儿(平成20年第52通~平成21年第 5 通、FI20.12.22~FI21.2.1)												
	定点	は当たり思	君数 (前週より:	増加	前週と同] ľ	じ 前週より減少)				
疾 患 名	52週	1週	1週 2週		3週 4週		週					
	(12/22~)	(12/29~)	(1/5~)	(1/12~)	(1/19~)	(1/26~)	1	2	3	4	5	
インフルエンザ	5.33	9.44	13.28	26.72	41.22	34.19						
RSウイルス感染症	0.97	0.36	0.55	0.45	0.52	0.15						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.39	0.06	0.03	0.06	0.21	0.27						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	0.21	0.52	1.00	1.58	1.70						
感染性胃腸炎	12.88	3.91	9.36	7.09	6.97	8.09						
水痘	2.39	1.70	3.76	1.48	2.39	1.18						
手足口病	0.21	0.15	0.15	0.06	0.15	0.15						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0.03	0	0.03	0.03						
突発性発しん	0.18	0.21	0.55	0.39	0.36	0.33						
百日咳	0.03	0	0.06	0	0	0.06						
ヘルパンギーナ	0.09	0	0	0.03	0	0.03					i	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.73	0.15	0.85	0.79	0.52	0.88						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.63	0	0.13	0	0	0.25					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0					·	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0.57	0.43	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.14	0	0	0	0	0						

(2)疾病別·保健所管内別発生状況(第 5 週、1/26~ 2/1)

疾患名		定点	当たり	患者数(県·保	建所管	内別)		疾患別発生状況				
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	(県全体)				
インフルエンザ	34.19	37.27	33.45	17.14	38.13	29.00	42.71	47.00					
RSウイルス感染症	0.15	0	0	0	0.40	0.25	0	1.00					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.27	0	0	0	1.40	0	0	1.00					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.70	0.43	1.14	2.00	5.60	0.75	1.50	0					
感染性胃腸炎	8.09	7.71	3.29	7.75	13.60	8.00	12.00	5.50					
水痘	1.18	1.29	1.43	0.50	1.60	1.50	0.75	0.50					
手足口病	0.15	0	0.29	0	0	0	0	1.50					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50					
突発性発しん	0.33	0.43	0.14	0.50	0.40	0.50	0.25	0					
百日咳	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.88	0	0.29	2.00	0.20	0.75	3.75	0					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.25	1.00	0	0	0	0	0	0					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0					

0 5 10 15 20 25 30 35 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



























3)今週の発生状況

ページのトップに 戻る

- ・インフルエンザ・・・・・・すべての保健所管内で警報終息基準値(10.00)以上となっており、警報 の発令中です。
- ·A群溶レン菌咽頭炎--東近江で先週よりさらに多くなり、警報終息基準値(2.00)を越えていま
- ・感染性胃腸炎-----東近江および長浜でやや多くなっており、特に長浜で急増しています。 ・流行性耳下腺炎-----県全体では3歳および6歳からの報告が多くなっています。また、長浜で 急増し、注意報発生基準値(3.00)を越えています。

滋賀県における保健所管内別警報・注意報発生状況(平成21年第5週)

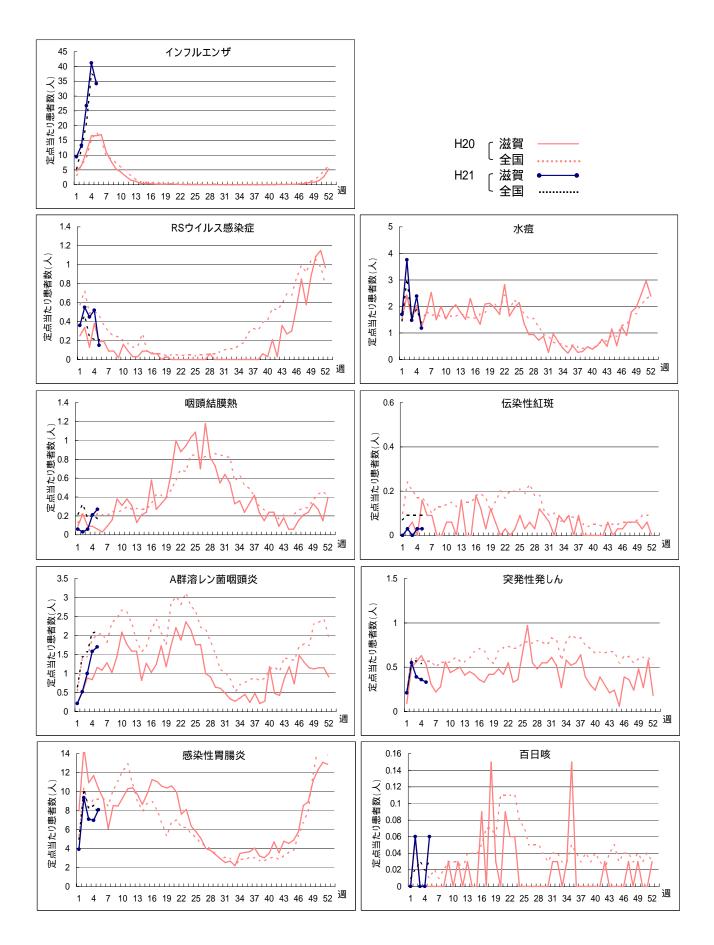
疾 患 名	県	保健所管内別									注意報発	
火态口		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	基準値	基準値	生基準値	
インフルエンザ		**	*	*	*	*	*	**	30.00	10.00	10.00	
定点当たり患者数(人)	34.19	37.27	33.45	17.14	38.13	29.00	42.71	47.00	00.00	10.00	10.00	
A群溶レン菌咽頭炎					*				4.00	2.00	_	
定点当たり患者数(人)	1.70	0.43	1.14	2.00	5.60	0.75	1.50	0	4.00	2.00		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)							¥		6.00	2.00	3.00	
定点当たり患者数(人)	0.88	0	0.29	2.00	0.20	0.75	3.75	0		2.00	0.00	

業報開始基準値または警報終息基準値を超えています。

★ 注意報発生基準値を超えています。

*基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。 また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

疾病別定点当たり患者数(平成21年第5週、H19.12.29~H21.2.1)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第5週、H19.12.29~H21.2.1)

